

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401
 住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12
 氏 名 株式会社マルエツ
 代表取締役社長 本間 正治 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,244	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 9,166	(実) 9,720	(実) 10,005	(実) 7,837	(実) 9,020
	(調) 9,179	(調) 9,827	(調) 9,168	(調) 7,837	(調) 9,029
削減率		(実) -6.0 %	(実) -9.2 %	(実) 14.5 %	(実) 1.6 %
		(調) -7.1 %	(調) 0.1 %	(調) 14.6 %	(調) 1.6 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延床面積×営業時間				原単位等の単位	t-CO2/1000㎡h
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(2024 年度)		
排出量原単位等の値	0.03498	0.03710	0.03735	0.02925	0.03443	
活動量の値	261,979	261,979	267,856	267,856	-	
排出量原単位等の削減率		-6.1 %	-6.8 %	16.4 %	1.6 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	・冷ケースの温度設定見直し、売場棚照明の消灯、空調・冷ケースの運転時間見直しなどにより使用電力量は削減したが、買電の排出係数が増加したことによりCO2排出量が6.0%増加し排出量原単位等の削減率も6.1%増加した。
第2年度	昨年度に引き続き、照明の消灯や空調等の運転時間見直しの取組みを行っていたが、買電の排出係数が増加したことによりCO2排出量が9.2%増加し排出量原単位等の削減率も6.8%増加した。
第3年度	店舗での電力抑制施策として、飲料冷蔵ケースの閉店1時間前での稼働停止、フィルター清掃、売り切り時の商品集合陳列による冷ケースの集約等を実施。一方で夏場の平均気温が過去最高を記録する等、外的要因による動力への負荷が増大したため、電気使用量はほぼ前年度並みに推移したが、CO2排出量は排出係数の変動により大幅に削減した。
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	結果として最終年度に大幅削減したが、期間中における増減については、いずれも排出係数の変動要因が大きく、外気温の影響増大により電気使用量自体を削減することは困難であった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	R-22冷蔵冷凍ケースの計画的更新、一部他店舗へ導入しているオスコムやエナジーセーバー等の省エネ設備の効果検証及び導入拡大の検討、非化石証書による再エネ導入拡大。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 組織横断的な委員会を設けて目標に向けて活動しています。店舗には、該当部署より省エネなどの啓蒙活動を推進していきます。 ○外部機関の利用等 ISO14001を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施しています。 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ、電気、ガス等の管理および変動について管理、分析をします。 ○照明設備の保安全管理 売場への導入は完了している為、バックルーム等へLEDを導入します。 ○空調設備の管理 新設・更新における措置として、ヒートポンプ等高効率の設備を採用します。
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関の利用等 ISO14001環境活動目標として全社で電気使用量削減に取組み、 <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンのフィルターやハニカムの清掃、外灯の点灯時間調整、空調の設定温度の管理等節電対策を徹底しました。 ・ 売場冷ケースの温度設定を「青果8℃から10℃、日配食品6℃から8℃、酒・飲料10℃から12℃」に変更し温度管理を徹底しました。
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関の利用等 ISO14001環境活動目標として全社で電気使用量削減に取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンのフィルターやハニカムの清掃、外灯の点灯時間調整、空調の設定温度の管理等節電対策を徹底しました。 ・ 閉店2時間前より飲料ケースの冷却停止、常温販売を実施しました。 ・ 塔屋看板・棚照明の消灯を実施しました。
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関の利用等 ISO14001環境活動目標として全社で電気使用量削減の取組実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンのフィルターやハニカムの清掃、外灯の点灯時間調整、空調温度管理 ・ エスカレーター開店5分前運転 ・ 便座暖房停止(5月~10月) ・ 缶ウオーマーOFF ・ 飲料ケースの夜間停止 ・ 塔屋看板・棚照明の消灯
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>夏の猛暑や平均気温の上昇等により、冷蔵・冷凍ケースの動力負荷は年々増大している中で、R-22冷ケースからR-448低GWP冷ケースへの更新や電気使用量削減の取り組みを継続実施し、インパクトの縮小に努めてきたが、見込み通りの結果には至らなかった。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
なし		

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	9,166 t-CO ₂	9,720 t-CO ₂	10,005 t-CO ₂	7,837 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	5,312 KL	5,233 KL	5,225 KL	5,244 KL
事業所の数	17	17	17	17

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
柿生店	川崎市麻生区上麻生5-41-1	938	904	920	613
鹿島田店	川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎	907	883	945	877